

midori

No.127

公益財団法人
かながわトラスとみどり財団

WINTER
2022

2万5千年前の旧石器時代 人の生活とは
拾った羽、どうしてますか？

写真班
求む!



もくじ

- 01 自然へ一歩
水墨画「秋夕花鳥図」
浦正
- 02 2万5千年前の旧石器時代人の生活とは
麻生 順司
- 06 緑化運動・育樹運動コンクール
- 08 拾った羽、どうしてますか？
羽の識別・保管方法
今泉ゆうじ
- 13 トラスト緑地保全支援事業報告
- 15 自然観察&体験イベント／森林ボランティア
- 16 イベント活動での撮影班を募集します
竹林整備から動物のエサへ
まいばすけっと株式会社
感想を送ってプレゼント
- 17 寄附のお願い
財団事業にご支援をお願いします

会員の皆さまへ

- ※転居先不明で返送されるケースが増えていきます。
住所などの変更がありましたらご連絡ください。
- ※機関誌「ミドリ」は財団公式WEBサイト
(<https://ktm.or.jp>)で読むことができます。
発送停止をご希望の方は財団事務局までご連絡ください。

表紙の 写真



桜ヶ丘緑地で活動する子どもたち
(大島瑞生さん、悠生さん)
記事→P13へ

イベント活動での写真班を募集します
記事→P16へ



表紙の帯色:黄朽葉色(きくちばいろ)

日ごとに寒さが深まる頃、にぎわった秋の紅葉から地面に散った葉も、日を重ねるごとに朽ちて色味が変化します。これを朽葉四十八色といい、また異なった色合いが楽しめます。

かながわの未来に、今できること



公益財団法人

かながわトラスutmみどり財団

1985年に発足以来、神奈川のみどりの保全と創造に関する様々な活動を展開しています。約1万人の会員の支援や募金寄附、ボランティアの皆様の協力を受け、今ある自然環境を次の世代に引き継いでいけるよう取り組んでいます。

☎ 045-412-2525

📘 facebook.com/ktm.or.jp

✉ midori@ktm.or.jp

📷 kanagawa_trust

🐦 @kanagawa_midori

会員数 & 寄附募金のお知らせ

トラスutm会員を募集しています。どなたでも会員になれます。ご支援ください！

普通会员 (トラスutm会員)

かながわのみどりを守り育てる運動を支える会員です。

		年会費
個人	大人	2,000円
	小学生500円、中・高校生1,000円	
家族	1家族	3,000円
法人/団体	1口	10,000円

トラスutm緑地保全支援会員 (オプション・任意加入)

普通会员の方に任意の加入で特定の緑地を支援していただく会員です。

		年会費
個人/家族		3,000円
法人/団体	1口	10,000円

※5年分の会費を1回でお払いいただくことで6年間会員になれます。

会員特典

●会員証

みどりのトラスutm会員の証として会員証を発行します。



●機関誌「ミドリ」

財団の最新情報や県内外の自然、環境問題など盛りだくさんの内容です。



●優待施設の利用

会員証及び優待券によって、各地の指定施設を優待利用できます。トラスutm運動に賛同していただいている施設です。



財団への会費や寄附は税額控除の対象になります。

現在の会員数

(2022年9月末現在)

	普通会员	緑地保全支援会員
個人会員	3,499人	461人
家族会員	5,727人	700人
法人・団体会員	312人	41人
特別・名誉会員	311人	
計	9,849人	1,202人

遺贈による寄附について

近年、遺言による寄附について関心が高まり、遺贈を受けた公益事業を推進しております。遺言の財産受取人として、公益財団法人かながわトラスutmみどり財団をご指定いただけます。

「かながわトラスutmみどり基金」への寄附状況

寄附累計額(2022年9月末現在)

14億5,864万2,460円

寄附者名(2022年7月～9月分) ※敬称略、アイウエオ順

イオンビッグ株式会社、藤崎英輔、マックスバリュ東海株式会社、株式会社メガスポーツ

「かながわトラスutmみどり財団」への寄附

財団へ寄附をいただきましたのでご紹介します。誠にありがとうございました。

寄附者名(2022年7月～9月) (敬称略)

天辰 哲也、池谷 善博、池田 純子、井手 和子、小澤 愛幸、小網代会館、児玉 英二、小松 終子、齊藤 吉之・和子、佐藤 三郎、佐藤 輝雄、柴崎 えつ子、清水 紀彦、菅野 実、鈴木 史人、鈴木 和男、椿 淑子、成澤 桂、長谷川 喜美江、羽鳥 亨、花谷 きよ子、平岡 大作、丸山 和弘、三國 和子、山本 勝久、山本 八千代、渡部 明

※掲載の承諾をいただいた皆さまをご紹介させていただいております。



秋夕花鳥図

絵と文 浦 正 (水墨画家・水墨画会奏墨主宰)

水墨画はその名の通り「水」と「墨」で描くとてもシンプルな画法ですが、一度描いたら書き直しができずに最後まで筆致が残るという特性があります。シンプルが故に奥深い一筆入魂の水墨画、「今この瞬間」に真剣に向き合うその精神鍛練の妙技は古くから禅の世界にも通じています。

例えば花を描くときは、自身も花が咲くような華やかな心地になって描き、葉を描くときは葉っぱ一枚一枚の元気な生命力を楽しみ、茎を描くときは大地の息吹と天

に伸びる勢いを意識して描くと、その心が画に現れて魅力ある作品になります。

そのように花鳥風月に想いを馳せながら「今この瞬間」に没頭して描く水墨画は、少々堅苦しくて難しそうな印象を持たれがちですが、実は子供から大人まで誰でも簡単にはじめることができます。四季折々の自然の美をより深く味わいたくなったら「今こことを楽しむ水墨画」はとてもお勧めです。

2万5千年前の 旧石器時代人の生活とは

～大和市新道遺跡の調査から～



写真1

トラスト緑地として保全される久田緑地の近隣で発掘調査が行われています。
どのような遺跡が残されているのか玉川文化財研究所の麻生順司氏に話を伺いました。



久田緑地(大和市)

(株)玉川文化財研究所 麻生順司

皆さんの中には川のそばに住んでいる方も多いと思いますが、そのような川に面した台地の上には我々の祖先と考えられる人々が残した生活の跡が「遺跡」として残されている場所が所々にあります。

このような遺跡は、時代的には江戸時代から奈良・平安時代を経て古くなると古墳時代・弥生時代・縄文時代・旧石器時代と遡ることができます。そして稲作の技術を持って大陸から多くの人々が渡来してきた弥生時代以前の縄文時代や旧石器時代の人々は、狩猟・採集経済といって動物などの狩りと自然の樹木の実などを採集する生活を送っていたことから、川に面した台地上に生活の場を作っていました。

特に縄文時代よりも古い旧石器時代人の生活は、縄文時代から使われた土器もなく、住居も持たずに川に沿った台地上での遊動生活を送っていたと考えられています。このような旧石器時代とは、年代的には今からおよそ38,000年前から15,000年前までの2万3千年間を指し、実は日本で一番長い間続いた時代でもあるのです。

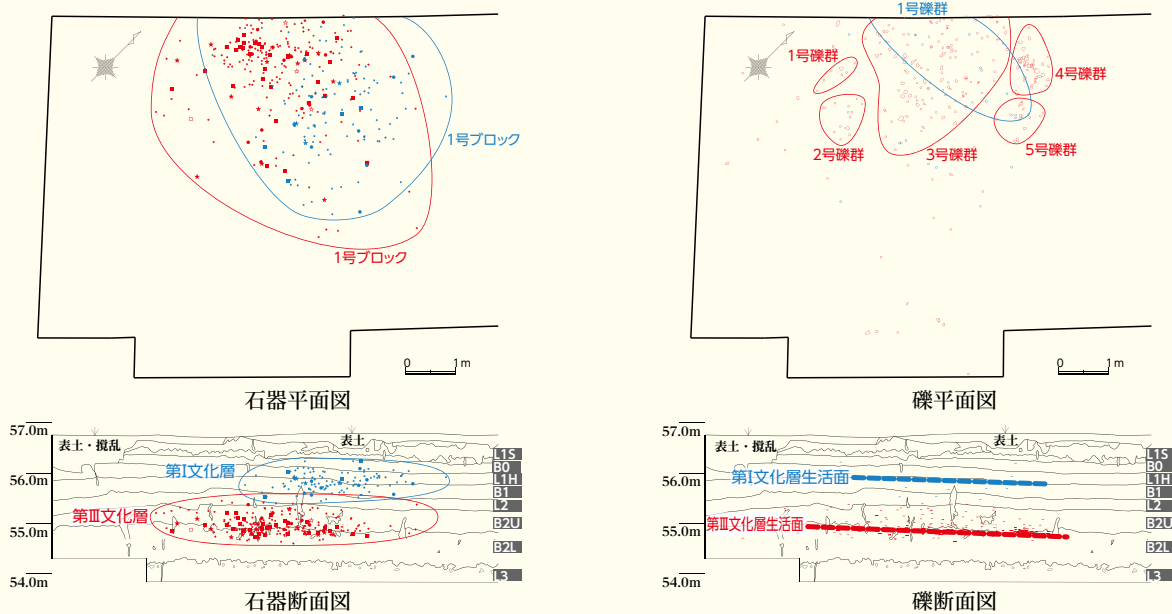
神奈川県では、このような旧石器時代の遺跡が県中央部を南北に流れる相模川の東側に広がる相模野台地で多く発見されており、この台地を古くから流れる中小河川によって刻まれた台地上に立地しています。

前置きが少し長くなってしまいましたが、今回はこのような

旧石器時代遺跡の一つである『新道遺跡』の調査について紹介したいと思います。

新道遺跡は、神奈川県大和市上和田に位置し、江戸時代より江戸と相模国を結ぶ中原街道が境川を超えた場所にあたり、河川敷の低地面から台地上に登った崖面上に立地します(写真1)。今回の調査は、この中原街道である県道45号線の拡幅工事に伴って行われたもので、令和2年度から現在までに2次にわたる発掘調査が行われており、さらに今後も調査が計画されています。

発掘調査は、当然のことながら現在の地表面から下層に向かって掘り進むことによって、はじめに述べたように江戸時代から奈良・平安時代を経て古墳時代・弥生時代・縄文時代と遡ることができ、各時代の生活の痕跡が残されていればその時代を映し出す遺物(主に茶碗や土器などの生活用品)が出土することによって残された時代や年代がわかるのです。そして、この縄文時代までの遺跡は主に「くろぼく」と呼ばれる黒色土(富士黒色土層)の中から発見されます。ですからそれよりも古い旧石器時代の遺跡である新道遺跡は、この黒色土の下に厚く堆積する黄褐色のローム層いわゆる関東ローム層(主に箱根火山や富士山の火山噴出物が堆積した火山灰)の中から発見される遺跡と言うことになります。このローム層は明るい土層とやや黒みがかかる土層が



第1図 文化層と生活面

相互に重なっており、それぞれ上層からL1～L5層(Lはローム)、B0～B5(Bは黒色帯)と名付けられています。さらに、L3層下部には今から約2万9千年前に南九州の始良カルデラが大噴火したときの火山灰が確認されており、この火山灰は青森県あたりまで確認されていることから、広域での年代を対比する際の重要な指標となっています。

発掘調査は、このローム層を主にスコップを使って薄く剥き取りながら掘り下げていくという作業から始まります。すると遺跡によって異なりますが、ある深さまで掘り下げるとスコップの先に『カチッ』とかすかな音とともにわずかな衝撃があり、遺物が出土し始めるのです。この時に出土する旧石器時代の遺物とは、前にも述べているように土器の発明以前です。すべて石で作られた石器や拳大の河原石が火を受けた焼け礫れきだけとなります。本来は木を加工した木製品や動物の骨などを利用した骨角器なども使用していたものと考えられていますが、このような有機物は酸性度の強い関東ローム層によって全て土に返されて無くなってしまいます。

このようにローム層中から出土した旧石器時代の遺物は、遺物の深さも多少の上下差を持ちながらも、ある程度のまとまりを持って出土するという特徴があります。そしてこの時代

では住居址などのような明瞭な遺構も出てこないのです。旧石器時代の調査ではこの出土した1点ごとの出土位置と深さが非常に重要なデータとなるのです。

第1図は、新道遺跡の遺物分布で示した概念図で、左が石器、右が礫の平面図と断面図になります。これを見るとわかるように、石器のまとまりを「ブロック」、焼け礫のまとまりを礫群と名付け、それぞれの平面分布は重なるものの、断面では深さに大きな違いがあることがわかります。このような深さに違いがあると言うことは、「重なり合う2つの地層は、下にある地層の方が上の地層よりも古い」という『地層累重の法則』によって上層の遺物よりも下層の遺物の方が古い時代に残されたものであることがわかるのです。そして私たちは、このようなある一定の土層に広がりを持つ遺物群を「文化層」と呼び、面的な出土状況を示す礫群のレベルを「生活面」と呼んでいます。

新道遺跡の第1次調査では、3時期にわたる文化層が確認され、年代的には25,000年前から21,000年前頃までに生活していた人々の痕跡が発見されました。それでは各文化層ごとにその内容を見ていきましょう。

第1文化層 - B1層上部

約21,000年前頃に生活していた人々です。調査区の南西側、中央東側、北東側にかけて石器の集中部であるブロックが4ヵ所、焼け礫のまとまりである礫群3基が発見されました。各ブロックや礫群は調査区を越えて広がる様相が見えているので、調査区の外にもさらに多くのブロックや礫群の存在が予想されています。

遺物は石器348点、礫84点の計432点が出土し、生活面としてはB1層上部に位置するものと考えられます。

石器は主に信州産と考えられる火山ガラスの「黒曜石」

という岩石を素材としたものが多く認められ、石器の種類としては尖頭器せんとうき(写真2-1)、ナイフ形石器・彫器・クサビ形石器と言う定形石器が確認され、その中でも黒曜石を素材とした小形のナイフ形石器(2,3)の存在がこの時期の特徴となります。

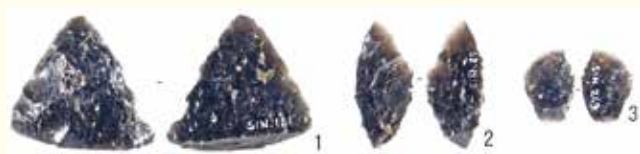


写真2 第1文化層出土石器

第II文化層－B1層下部



約23,000年前頃に相当します。調査区の中央東側で石器ブロックが1ヵ所発見されました。

遺物は石器69点、礫19点の計88点であり、L1H層からL2層にかけて出土しましたが、生活面としてはB1層下部に設定されます。

主な石器としては第I文化層と同様にナイフ形石器(写真3-1,2)、スクレイパー(3)、クサビ形石器等が見られますが、石器の石材としては第I文化層とは異なり、境川に点在していたと考えられる在地の石材である凝灰岩を主体的に用いています。また、石器の素材となる剥片の製作技法も両側縁が並行する「石刃」と呼ばれる縦長剥片(4)を連続して剥ぎ取る技術が確立していて、その痕跡を持つ石核(5)も出土しています。



写真3 第II文化層出土石器

第III文化層－B2L層上部



本遺跡では最も古い約25,000年前頃に相当します。新道遺跡での人々の活動が最も活発化していた時期と考えられ、石器ブロックは8ヵ所、礫群が42基も発見されました。石器ブロックと礫群は、台地の縁辺に近い調査区北東側と南西側の2ヵ所に大きく分かれ、第I文化層と同様に各ブロックや礫群は調査区を越えて、さらに多くの遺構の存在が予想されています。

遺物は石器698点、礫1,325点がL2層からB2L層にかけて出土しましたが、生活面としては礫群の面的なピークからB2L層上部に設定されます。

本文化層の最も大きな特徴としては、礫群とした遺構が大量に発見されたことがあげられます。礫群とは拳大の川

原石を集めて火をたき、その石の熱を使って今で言うバーベキューや葉などで食料を包んで石蒸し料理を行っていた跡と考えられている遺構です。本遺跡からはその痕跡と考えられる礫の集中部が第2図に示したように大きく2ヵ所に分かれて合計42基も発見されたのです。この礫群の集中度を見てみると、今回の発掘調査面積は約150㎡ですので、礫群の密度としては10㎡あたり2.8基になります。そして特に密集度の高い調査区北東半分で見れば10㎡あたり5基の分布密度を示していて、このような礫群の密集度は礫群の発見例の多い南関東でも類を見ない遺跡と言えます(写真5)。

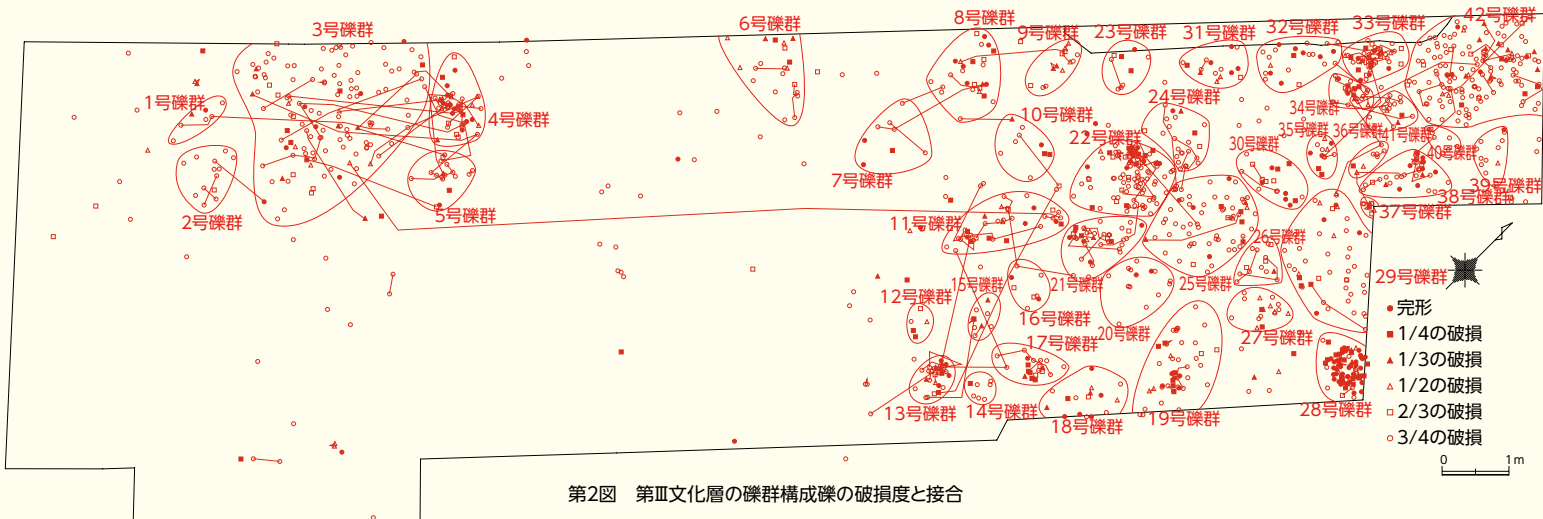
個々の礫群の分布状況としては、規模と点数から見た分布ではやや散漫な分布を示す礫群も認められて礫群単位の分離が難しい礫群も見られますが、写真6の28号礫群のような小規模で密集部を持つ使用後の遺棄した状態を示す礫群も発見されています。そして、散漫な分布を示す礫



写真4 第III文化層遺物出土状態



写真5 調査区北東側礫群密集部



第2図 第Ⅲ文化層の礫群構成礫の破損度と接合



写真6 28号礫群



写真7 第Ⅲ文化層出土石器

群には破損礫が多いことからこの破損礫同士の接合関係を調べると、立体パズルのように割れた面同士が接合して完形や完形に近い礫に復元されるものも多く認められるのです。その破損礫の位置関係を見ると同じ礫群同士はもちろん、やや離れた礫群との接合関係も認められ、このことから再利用のために礫が移動していることがわかります。

一方、本文化層から出土した定形石器は、いずれもこの時代を特徴づける石器が出土しました。まず、尖頭器(写真7-1)は旧石器時代の中でも最古段階に位置づけられるものであり、貴重な出土例となります。角錐状石器(2)はこの時期のみに特徴的に作出される石器で、刃を持たず棒状に加工された石器です。また、ナイフ形石器(3,4)の特徴としては、素材に第Ⅱ文化層で用いられていた縦長剥片がほとんど見られず、逆に幅の広い横長剥片を多く用いて刃部が先端部側に偏るという特徴が認められます。他にも、円形スクレイパー(5)や磨石状円礫(6)もこの段階に特徴的に使用される石器です。これらの石器の素材としては、黒曜石・凝灰岩・安山岩・チャート・頁岩等多種類に及びますが、石英(水晶)も4点含まれていました。

このように、この時期の人々はこの場所でこのような多

器種に及ぶ石器を製作し、その道具を用いて狩りや採集を行っていました。そして繰り返しこの場所に戻ってきてはその都度礫群を構築してその獲物を調理するという生活を送っていたものと考えられ、このような状況が確認されたことは大きな成果と言えます。

以上のように、境川流域に位置する大和市上和田の新道遺跡について紹介してきましたが、本遺跡のような旧石器時代の遺跡は基本的に石が発見されるだけであり、それも専門的な知識が無いと理解しにくいことから分かりやすく説明するのは非常に難しい遺跡でもあります。この文章で少しでも旧石器時代人の生活に興味を持っていただければと思います。

プロフィール

麻生順司

(株)玉川文化財研究所調査研究副部長

大和配水池内遺跡や船久保遺跡などの旧石器時代遺跡の調査を専門に担当。





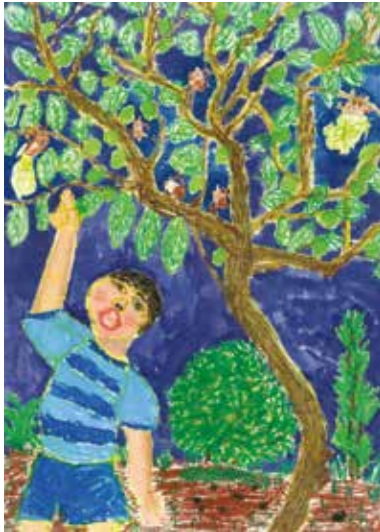
令和4年度 緑化運動・育樹運動コンクール

「緑化運動・育樹運動コンクール」は、緑の募金によって行われています

ポスター原画 コンクール

【講評】 毎秋、横浜の「緑化コンクール」審査会場は木や森や草花の絵でいっぱいになります。一枚一枚の絵には描いた子供たちのパワーを感じます。

最優秀賞 小学校の部



「夏の夜(セミの羽化)」

伊勢原市立比々多小学校2年
かわくち ゆめと
川口 夢人さん

毎年、わにたくさん来るセミの羽化がすごくきれいだから。

【講評】 枝を登る、羽化する、殻につかまって羽を乾かす……一本の木にさまざまな幼虫の姿が、そして地上に出た穴も描かれています。卵からふ化した幼虫は土の中で何年も樹液を吸って育ちます。背中が割れて薄緑色の体が現れ、生命が身体中にあふれるのをじっと待ちます。羽化は生命のつながりを感じる第一歩です。

最優秀賞 中学校の部



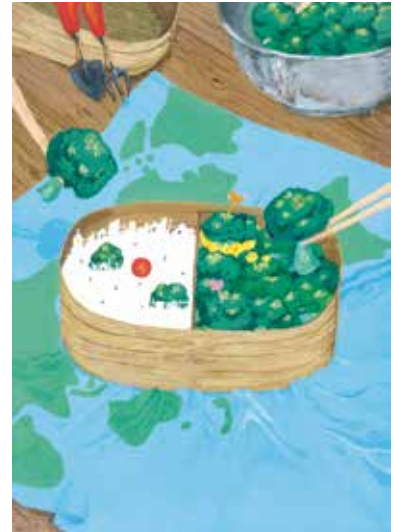
「緑と遊ぶ子供たち」

川崎市立南菅中学校3年
くりはら たまほ
栗原 玉帆さん

緑と遊ぶ子供たちを作品にしたいと思い描きました。何十年何百年も緑が守られ、みんなの笑顔が絶えない世界になればいいなと思い込みました。

【講評】 木のまわりで笑顔で遊ぶ子供たち……未来のあたりまえな、ある日の光景が魚眼レンズのアングルで描かれています。地面から空を見上げている作者の視点は未来への願いを感じさせます。あたりまえは平和の証だと思います。

最優秀賞 高等学校の部



「森弁当」

県立小田原城北工業高等学校2年
おおつぼ ひまわり
大坪 向日葵さん

木を植えることでおこる「良いこと」たちを簡単に楽しくわかるように描きました。

【講評】 ごはんの街には緑の公園、おかずの森にはプロッコリーの木を植えているお弁当箱。……木を植えることで起こる「良いこと」を誰もがイメージできる日常の素材を使って楽しく描いています。木製のお弁当箱の船がランチマットの海に浮かんでいるようなファンタジックなほほえみがこぼれる作品です。

金賞 小学校の部

伊勢原市立伊勢原小学校1年
おの いちか
小野 一芭さん

伊勢原市立大田小学校5年
おおつか まゆ
大塚 麻由さん

金賞 中学校の部

平塚市立江陽中学校2年
つるい かのん
鶴井 奏音さん

金賞 高等学校の部

県立小田原城北工業高等学校3年
あべ ひろむ
安部 大夢さん

銀賞 【小学校の部】伊勢原市立伊勢原小学校2年・ス波ころさん/伊勢原市立比々多小学校2年・石塚大登さん/伊勢原市立比々多小学校6年・宮本琴未さん【中学校の部】茅ヶ崎市立北陽中学校2年・益子風音さん/伊勢原市立成瀬中学校1年・中島由莉さん【高等学校の部】神奈川県立白山高等学校1年・鈴木彩芽さん

銅賞 【小学校の部】相模原市立大野北小学校3年・橋本悠生さん/厚木市立相川小学校4年・後藤要さん/伊勢原市立大山小学校1年・松並裕太さん/伊勢原市立比々多小学校3年・黒沢ののかさん【中学校の部】横浜市立西中学校3年・谷口夏綺さん/伊勢原市立山王中学校1年・小笠原清さん/伊勢原市立山王中学校1年・園川れいさん【高等学校の部】東海大学付属相模高等学校1年・川口翔平さん

佳作 【小学校の部】三浦市立上宮田小学校6年・伊藤心優さん/海老名市立社家小学校3年・安藤蓮さん/厚木市立相川小学校4年・牧山美衣さん/厚木市立玉川小学校1年・池田純菜さん/愛川町立高峰小学校6年・岩寄桜菜さん/二宮町立一色小学校2年・宮原ことのさん【中学校の部】平塚市立太平洋中学校1年・西崎礼さん/平塚市立太平洋中学校3年・前鹿川雄真さん/伊勢原市立山王中学校1年・川上莉愛さん/伊勢原市立山王中学校2年・関西凰次朗さん/伊勢原市立山王中学校3年・大城戸翔子さん【高等学校の部】県立神奈川工業高等学校2年・古閑美宇さん

標語コンクール

【講評】 全体的にみて、去年までは「未来」や「希望」という言葉が多かったのですが、今年は言葉が具体的になってきて、非常に良い傾向であると思います。

最優秀賞 小学校の部

「さあ進もう、
緑化は未来の
種まきだ!」

愛川町立高峰小学校2年
こばやし れな
小林 玲奈さん

【講評】身近なところから、それでいて行動的で、動きがあって、歯切れがよくって、面白い。2年生とは思えないような非常に端的でいい作品だったなと思います。

最優秀賞 中学校の部

「託された
緑のバトン
繋げよう」

厚木市立依知中学校2年
おくむら しき
奥村 隼生さん

【講評】「緑のバトン」という言葉はよく標語作品に出てきている言葉なのですが、「託された」という中に今の自分たちが感じなきゃいけない責任感が強く伝わってきます。自分の立ち位置がわかって、過去からもらったものを未来へという、過去現在未来という時間的な流れが良かったなと思います。

最優秀賞 一般の部

「さそい合う
夢ある植樹
こつこつと」

横浜市
おまた のぼる
男全 昇さん

【講評】この「夢ある植樹」という言葉の使い方が、明るい未来に向けて皆でがんばろうという心が温まるような作品だったと思います。また、「誘い合う」という言葉。自分一人の力じゃなくて皆の力を集めて緑を増やしていこうという気持ちが伝わってくる作品でした。

金賞 小学校の部

厚木市立相川小学校 伊勢原市立大田小学校
3年 5年
きたむら りさ さいき れんじ
北村 梨紗さん 齋木 蓮司さん

金賞 中学校の部

茅ヶ崎市立円蔵中学校 平塚市立春日野中学校 平塚市立春日野中学校
2年 1年 2年
にしば こいずみ こうき はた
西場 まこさん 小泉 光輝さん 畑 ことりさん

金賞 一般の部

横浜市 しばやま よう
柴山 洋さん
藤沢市 なかがわ よしひこ
中川 芳彦さん

銀賞 【小学校の部】川崎市立梶ヶ谷小学校4年・田邊航さん/綾瀬市立北の台小学校2年・菊地咲蘭さん/伊勢原市立大田小学校3年・竹本庵さん【中学校の部】川崎市立住吉中学校1年・渡部心音さん/厚木市立依知中学校2年・加藤海斗さん/平塚市立春日野中学校2年・西村翔太郎さん【一般の部】横浜市・徳永早苗さん

銅賞 【小学校の部】厚木市立玉川小学校1年・小島凜さん/厚木市立玉川小学校6年・脇嶋拓海さん/秦野市立南小学校2年・諸田真奈さん【中学校の部】川崎市立住吉中学校1年・吉田琴葉さん/厚木市立依知中学校2年・座間海愛さん/厚木市立依知中学校2年・阿久津善さん【一般の部】小田原市・香川清さん/座間市・清水隆さん

佳作 【小学校の部】横浜市立蒔田小学校2年・小山知里さん/綾瀬市立北の台小学校5年・高田侑那さん/厚木市立相川小学校3年・阿部大舞さん/秦野市立南小学校5年・諸田和真さん【中学校の部】川崎市立住吉中学校1年・小泉活貴さん/茅ヶ崎市立鶴が台中学校2年・松下侍龍さん/茅ヶ崎市立鶴が台中学校2年・若月愛奈さん/厚木市立依知中学校1年・大矢瑛之さん/厚木市立依知中学校1年・高松裕衣菜さん【高等学校の部】あおば支援学校高等部1年・佐藤愛さん

緑の募金の使い道の一部を紹介します

第46回 コリドー（緑の回廊）を丹沢から

令和4年10月22日(土)

丹沢での「コリドー（緑の回廊）」を実現するため、NPO法人丹沢自然保護協会が主催となり毎年春と秋に行っている植栽活動に賛同し、当財団も共催として参画しました。企業団体、一般参加者合わせて222名がそれぞれクワとカマを手に持ち、モミヤマザクラ等の苗木を植えました。

当日は、間伐材を活用したカート缶飲料を配布し、募金への協力を呼びかけました。



上：植栽の様子
下：植栽全景
左：カート缶配布の様子

緑の募金保全活動

令和4年10月23日(日)

南足柄市にある県立21世紀の森で、林内に約20年前に植樹したカツラやケヤキ等の林内に侵入したタケ・ササ、アオキの除伐作業を行いました。

また、散らばった枝木を集め、木に絡んだツル類も除去し、植樹した木々の姿が一層際立ったきれいな森林となり、参加者の方からも達成感を得たと感想をいただきました。参加者は近隣だけではなく、横浜や川崎の遠方からも来られ、企業団体を含め45名でした。



拾った羽、どうしてですか？

羽の識別・
保管方法

今泉 ゆうじ

野山を歩いていると思いがけず羽を拾うことがあります。はらりと一枚落ちている時もあれば、大量に引き抜かれた凄惨な現場の時もあります。模様や形が美しい羽。その機能は保温や飛翔、防護等々、多岐に渡る機能を備えた芸術品と言っても過言ではありません。たとえ鳥に興味がない人でも落ちている羽を見つければ思わず手に取ってしまう。そんな魅力が羽には溢れています。ここでは「羽の初心者」に向けて、拾った羽の識別方法や取り扱いについて紹介します。

どこの羽なのだろう

羽を拾った時に真っ先に頭に思い浮かぶのは、オオタカやキジバト、ツグミなど、落とし主の種類のことではないでしょうか。色彩の豊かさに加えて複雑な形をした羽が一体どんな鳥のものなのか、気になるのは至極当然の事かと思えます。

しかし、実は鳥の種類を識別する前に調べる事があります。それは「その羽が鳥の体のどこから抜けたのか？」です。

言うまでも無く、鳥は全身羽だらけです。同じ種でもその羽の色や形、それに模様は生えている場所によって様々です。種類を言い当てる前に、どこの部位に生えていたものなのか、なんとなくでも識別する必要があります。



図1 アオゲラの羽。生えている部位によって、色や模様、形が全く異なる。

ここで私が「なんとなく」と書いたのには訳があります。全身が羽で覆われているのが鳥です。羽は図2のように生えている場所によってこんなに細かく分類される事もあります。読者の皆様は、「こんな中から部位を識別するなんて到底不可能だ」と思うのではないのでしょうか。

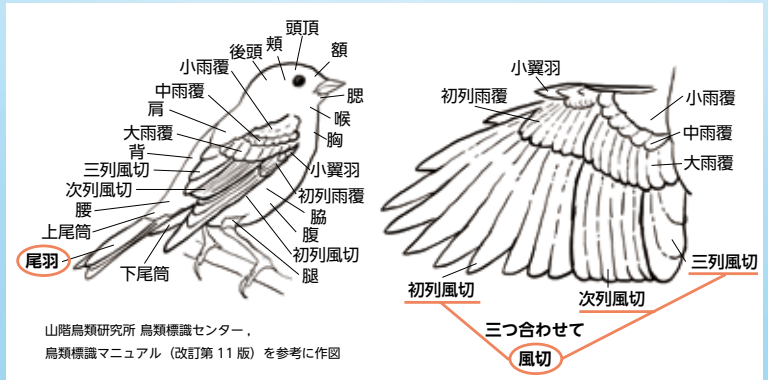


図2 羽は生えている場所によって細かく分類されている。

羽はテンション上がるものだけ識別する

ですので、私は「自分がテンションの上がる羽だけを拾って識別したら良い」と考えています。「何だか良く分からない地味な羽は後回し」といった感じで、結構いい加減にやっています。

では、「テンションの上がる羽」とはなんのでしょうか。一般的に、拾って嬉しい羽は かざきり 風切と おぼね 尾羽じゃないかと思います(図2を参照)。

風切は翼を構成している主要な羽。空を飛び回る為のエンジンとも呼べる重要なものです。一方、尾羽は方向転換やブレーキをかける為の羽です。どちらも種によって色や形、模様の特徴があり、その種のシンボリックな羽になっている事が多いです。

また、風切と尾羽は図鑑に掲載されている事が多く、識別に必要な情報が集めやすいのです。したがって、識別する楽しみも割と簡単に満たされます。逆に腹や腰、背中に生えているフワフワしたいわゆる体羽は掲載情報が少なく、識別するにはかなり苦労します。



図3 拾って嬉しい尾羽と風切

こういった理由から、最初のうちは思い切って諦めてしまうのが無難です。

風切か、尾羽か、それ以外かの見分け方

では拾った羽が風切か、尾羽か、それ以外かはどうやって見分けたら良いでしょうか。ミクロな視点で細かく切り分けていく方法がありますが、それはあまりに専門的で初めての人にはとっつきにくいです。ここでは「だいたい分かる事」を目的に、感覚的な視点から説明しようと思います。

風切と尾羽は以下の様な共通した特徴があります。

- 1.羽軸^{*1}(うじく)が固くしっかりといて長い
- 2.羽弁^{*2}(うべん)がしっかりといて一枚の面になっている

どちらも「しっかりと」しているのがキーワードです。風を操る為の大切な羽なので団扇の様にしなやかでありつつも、しっかりとした構造になっているのです。

※1 羽軸:羽の真ん中にある軸の部分

※2 羽弁:羽軸を中心に左右に広がっている部分

これに対して、「それ以外の羽」として体羽は羽弁や羽軸がしっかり



図4 尾羽と風切は「しっかりと」している



図5 ふわふわとした体羽

していません。羽軸が柔らかくて頼りない。羽弁がふわふわでまとまりがない。全体的になよなよしている印象なのが「それ以外の羽」、体羽です。

風切と尾羽の見分け方

風切と尾羽は「しっかり」しているという事で、目星がつかしました。では、どうやってこの2者を見分けるのでしょうか。実はこの識別はそれほど難しくありません。羽を側面から見てみましょう。側面から見た時、風切と尾羽では羽軸のカーブの仕方が違うのが分かります。風切は全体的にカーブしているのに対し、尾羽は根元のあたりがカクッと曲がっている以外は真っ直ぐなのです。これは風切が飛翔に必要な揚力を得る為にカーブを描いているのに対し、尾羽が制動や方向転換に必要な羽

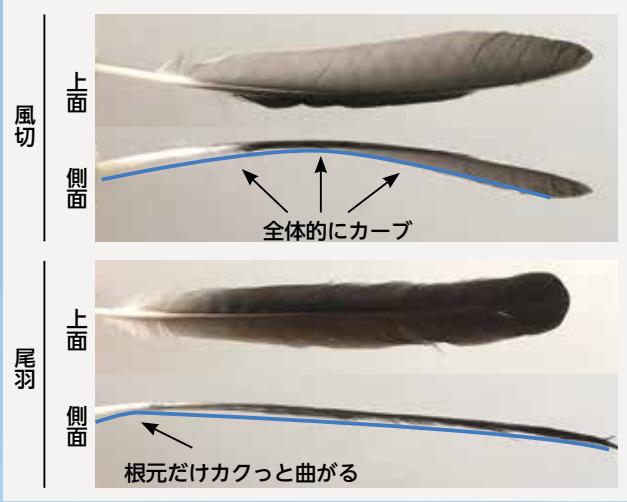


図6 風切と尾羽の識別方法。横から羽軸のカーブを観察しよう。

だからです。尾羽は羽軸の根本の方を曲げる事で、制動時に受ける特に下からの風の力に抵抗する強度を持たせているのです。



図7 着地するヤマドリ。尾羽を広げて制動している。

羽の持ち主は誰？

風切か尾羽かが何となく分かったら、ついに羽の持ち主、つまり鳥の種類を識別していきましょう。まずはどんな種類の鳥なのか、あたり付けする事から始めます。



キジバト



■特徴

- ・色：黒とグレーの2色
- ・模様：先端だけ色が違う
- ・たぶん、尾羽だと思う

■大きさ(長さ)

- ・14cm

■拾った場所と季節

- ・こども自然公園
- ・夏(2020.8.10)

■周りにいた鳥

- ・カラス、キジバト、スズメ、ハクセキレイ

→なんとなく、キジバトっぽい？

図8 拾った羽の特徴を挙げ、辺りに生息する鳥を推測しよう

色と模様

まずは色と模様を観察しましょう。色は黒ですか茶ですか？単色ですか？それとも2色？どんな模様は？斑点があるか？特徴を2、3挙げましょう。

大きさ

大きさはどれくらいでしょうか？野鳥図鑑には大抵その種の全長が「L=33cm」などと記載してあります。全長を超える様な羽はあり得ませんから、あたり付けの目安になります。風切か尾羽でしたら、大抵全長の1/4～1/2位の長さに収まるかと思えます。したがって、拾った14cmの尾羽がL=21cmのハクセキレイというには、ちょっと違うかなとなります。L=33cmのキジバトだったら、14cmの尾羽はあり得ると言った具合です。

拾った場所と季節

その羽を拾ったのはいつ、どこでしょうか？もし、場所が市街地だとスズメ、ムクドリ、カラス、キジバト等が頭に浮かびます。夏だったらツバメの可能性もあります。一方、浜辺だったら水辺の鳥も候補に上がり、特に

海にいる鳥でウミネコやトビ、スズガモなどといった感じですが、拾ったのが夏だったら冬鳥のスズガモはたぶん違うだろうとなります。

このように、色と模様、長さ、拾った場所と季節から、「なんとなくキジバトっぽいな」とあたりをつけましょう。

本気で調べる

羽図鑑

あたり付けした鳥の種類の確からしさを調べるには、図鑑が一番です。羽図鑑が手元があれば、これを見ながら羽と図鑑を見比べながら識別できます。同じものが見つければ無事識別終了ですし、外れていても近縁種をパラパラと確認して手がかりを探します。それでもダメなら羽図鑑に加えて野鳥図鑑も見ながら、第2候補、第3候補を探しましょう。この時、羽を拾ったフィールドにはどんな鳥がいるか、想像を膨らませるのが重要です。羽図鑑には様々な種の羽が載っています。全くあたり付けをせず総当りで識別しようとする、時間ばかりかかって疲弊してしまいます。あたり付けはこの為の準備だったのです。

私が識別に使っているおすすめの羽図鑑2冊を紹介しておきます。

●原寸大写真図鑑 羽 増補改訂版（文一総合出版 叶内拓哉/高田勝）

大型本で高価なのですが、羽の写真が原寸大で掲載されているので本の上に羽を置くだけで比較出来ます。図書館に置いてあることもあるので利用してみてください。

●羽根識別マニュアル（文一総合出版 藤井幹）

前者と比較するとリーズナブルで手に入れやすい羽図鑑です。羽図鑑だけでなく羽の識別方法も詳しく掲載されています。羽に興味を持たれた方の最初の一冊としておすすめです。

普通の野鳥図鑑

尾羽や風切の識別でしたら、普通の野鳥図鑑でも分かる事があります。この場合はイラスト図鑑よりも写真図鑑が良いです。イラストの場合は羽の詳細な模様

が省かれている事があるからです。写真図鑑で特に飛翔中だとか、翼や尾羽を広げた写真が多い物だと非常に頼りになります。

図鑑以外にはインターネットを利用する方法もあります。

featherbase (www.featherbase.info)

世界最大の羽のデータベースです。日本だけでなく世界中の鳥の羽が高解像度の写真で掲載されていて、誰でも無料で利用できます。

SKG羽のバックヤード (skgfeather.com)

手前味噌ですが、筆者が運営管理している羽のwebサイトです。神奈川県相模原市にある「県立津久井城山公園」を中心に活動するしろやま自然観察グループのメンバーがフィールドで拾った鳥の羽を、羽標本にしてweb上で展示解説しています。

インターネットでの検索ノウハウ

あたりが付いている種があれば、その種名をインターネットで検索してみると良いです。Yahoo!やGoogleなどの検索サイトで「キジバト、風切」とか、「キジバト、尾羽」、はたまた「キジバト、羽標本」などと検索してみると、案外分かったりします。

どうしても分からない場合

羽図鑑を見回しても、どうしても分からない時。そういった場合は無理に探そうとせず、まずは丁寧に保管しておくのが良いと思います。徐々にレベルが上がっていくと、「そういえばあの時分からなかったあの羽、もしかしてツグミの尾羽だったのでは!？」と閃く時が来ます。その日の為に大切に、分からない羽も大切に保管しておきましょう。



拾った羽は洗おう

羽は洗うことによって汚れが落ち、とても綺麗になります。枯れ草の破片や土埃が付いて少しくたびれた羽も、洗うことで生きていた頃のように綺麗に蘇ります。洗うのに特に難しい事はありません。洗面器にお湯を張って洗剤で洗う

だけです。お湯は給湯器で40℃前後の温度が適当です。洗剤は食器洗剤でもシャンプーでも大丈夫です。洗面器に洗剤を入れ、その後にお湯を入れて泡を立てます。泡が立ったら羽を入れて優しく洗いましょう。汚れが酷い場合はい

きなり洗剤を入れずに、最初にお湯だけで大まかな汚れを落とすのがコツです。

汚れが落ちたら、水で良くゆすいでしっかり洗剤を落としてください。洗った羽はキッチンペーパーやタオルの上に置いて、軽く水気を取ります。

その後はドライヤーで乾かしていきます。温風で最大風量がいいでしょう。ドライヤーで半乾き位の状態まで乾かします。

ここまでやると大抵羽弁がバラバラになってしまいますので指を使って形を整えていきます。鳥になった気分です。羽繕いをしていくと、バラバラになった羽弁は一枚の板の様に元通りにくっついていきます。目には見えませんが、羽弁を構成する羽枝(うし)には鉤爪が付いるのでマジックテープの様に隣の羽枝にくっついていくという仕組みなのです。

形が整ったら1日ほど自然乾燥させれば洗浄完了です。

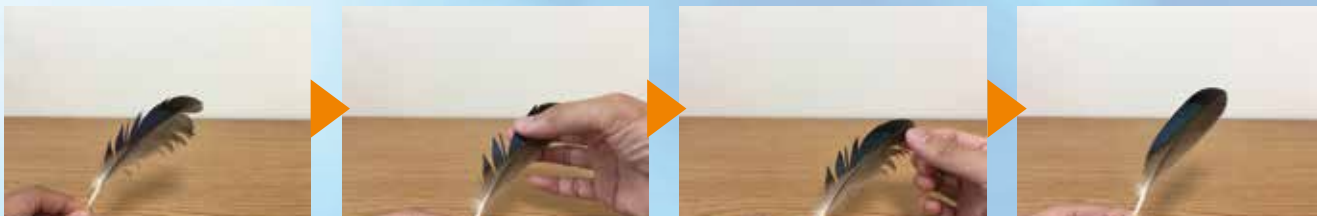


図9 バラバラになった羽弁は指で繕えば元通りになる。

どうやって保管する?

長期保管の大敵は虫です。羽は油断するとセーターやスーツなどの羊毛製品と同様に虫に食べられボロボロになってしまいます。その様にならない為の注意点です。

密封する

チャック付きポリ袋に入れておけば、外部からの虫の侵入が抑えられます。また、中身が見えるので管理がしやすいです。

防虫剤を使う

私は衣服用の防虫剤を使っています。羽を保管しているファイルのポケットに入れるのもいいですし、いちいち面倒臭ければファイルやノートを引き出しに保管して、その中に防虫剤を入れれば衣服と同じような効果が期待できます。

市街地や緑地、里山で拾える羽

最後に神奈川県内の市街地や緑地、里山などで比較的拾いやすい羽を紹介しましょう。色や模様の特徴があるものを載せておきます。

著者プロフィール

今泉ゆうじ(木こり/鳥の人/羽の人)

伊勢原市森林組合 技術員、日本野鳥の会神奈川支部 会員(探鳥会リーダー、BINOS編集委員)、はだの野鳥の会 会員、SKG羽のバックヤード(skgfeather.com) 管理人、羽以外の話題はブログ:イマジサwebログ(imazisa.com)で発信、Twitter:@SkgFeather 写真協力(ヤマシギ、ヤマドリ):八木茂氏(はだの野鳥の会 会長)



図10 羽は左からムクドリ、シジュウカラ、カワラヒワ、メジロ、カケス、スズメ、ハクセキレイ、イカル、ヒヨドリ、トラツグミ

トラスト緑地保全支援事業の活動報告

トラスト会員の各団体が会費や寄附をいただき、各緑地の保全活動を精力的に行っています。それぞれ4箇所の活動レポートです。

久田緑地 (報告：久田緑地くらぶ)

雑木林や竹林といった山の管理と、緑地周辺部の田畑を使った農作業を週に2回行っています。竹林はモウソウダケといって、稈(カン)が太く大きく成長するので伐採や枝払がかなり難儀です。この秋冬については枯れ竹や古い竹の除去や、間引きなどを実施していくつもりです。

そのほか、緑地内の野辺地などでの植生調査や草刈も定期的に行っています。

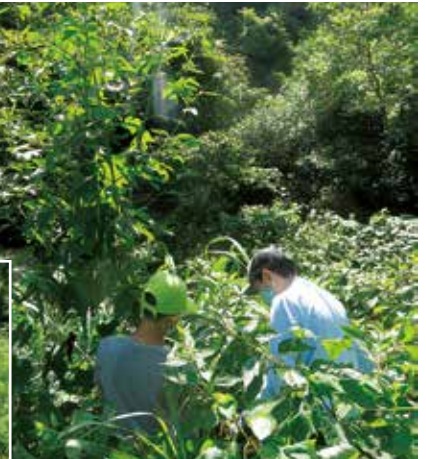


↑ 竹林で四ツ目の竹垣づくり
← 緑地の草刈作業

桜ヶ丘緑地 (報告：桜ヶ丘・水辺のある森再生プロジェクト)

緑地は小さく住宅街に囲まれた場所ながら起伏に富み、樹林地や草地、竹林、流水域や止水域等、多様な環境を保持しています。それぞれの管理を通し緑地の生物多様性を最大限に引き出すべく、地味ですが着実に守り、推進しているところです。田んぼ活動はもとより、外来種駆除や林床整備、水路整備等により、例えばゲンジボタルやニリンソウの分布を増やしたり、フクロウ、オオタカ等も確認されています。

田んぼ活動では、地元小学校の社会文化や田んぼに集まる生きものの生物学習にも役立っています。今年も5区画の水田に稲が育ち、無事に収穫することが出来ました。



↑ 人の背より高くなった外来種オオバクサの除草
← 除草したものを運ぶ子どもたち

葛葉緑地 (報告：秦野市くずはの家・ボランティアの会)

近年ナラ枯れによる被害が増え、くずはの家(秦野市)では毎年調査を実施し、枝の落下など危険な場所を優先して伐採を行っています。会では伐採した材をくずはの家の薪ストーブの薪にしたり、シイタケのほだ木として利用した後、緑地内に堆積し昆虫のすみかを作るなど、樹木の利用と循環の大切な作業をになっています。

シカと共に侵入するヤマビルも問題で、人への吸血被害対策として観察会ボランティア「えのきの会」の皆さんと共に、毎年越冬場所となる落ち葉掃きを行っています。

また毎年「^{ひとひとりほう}人囮法」という一定時間に何頭ヤマビルが人にとりつくかの調査をし、落ち葉掃きの効果を調べています。



↑ 落ち葉掃き
ヤマビル対策の落ち葉掃き。堆積場所まで運び腐葉土に。カブトムシの幼虫のすみかになります。

← 新薪割機
今まで借り物でしたが、今シーズン「セブン-イレブン記念財団」の助成金を活用し、薪割機を購入！♪作業が進みます。

小網代の森緑地（報告：NPO法人小網代野外活動調整会議）

小網代の夏の手入れは毎日がハマカンゾウ。若手、ベテラン一緒になって、チガヤ・ネズミホソムギ等の攪乱植物の除去、乾燥回避のための配水作業を継続しました。今年も満開は8月19日。一日当たりの花の数は、ピーク時、5,000を超え、えのきテラス周辺はオレンジの花に埋め尽くされました。猛暑の中、訪問者から慰労の言葉をかけられることも増え、スタッフ一同大感謝。



8月 花盛りのハマカンゾウの手入れ



10月 えのきテラス周辺での草刈



10月 木道沿いの防火帯用の草刈作業

遅咲きのハマカンゾウの花の残る10月。湿原は一転、オギ、アシの穂波にうめつくされました。この秋は、本格的なナラ枯れ対応もはじめてます。小網代保全・管理をすすめる活動への変わらぬご支援、お願いいたします。



10月 子供たちへ水生生物の講座



10月 子どもたちのハマカンゾウの移植会

トラスト緑地保全支援会員募集中

普通会員として協力いただいている皆さまの中で、よりトラスト緑地の保全に資金的な支援をお願いするトラスト緑地保全支援会員があります。会員会費にプラスして年間3千円、法人/団体は1万円の支援をお願いしており、全額が指定する緑地の保全事業に活用されます。

トラスト緑地保全支援会員
(オプション・任意加入)

普通会員の方に任意の加入で特定の緑地を支援していただく会員です。

		年会費
個人/家族		3,000円
法人/団体	1 □	10,000円

参加のための注意事項 原則マスク等持参・着用、人との距離を取る。1つでも該当する場合は、参加を見合わせてください

- 風邪の症状がある □過去48時間以内に発熱の症状がある □倦怠感(だるさ)や咳、痰、胸部に不快感がある □味覚、嗅覚に違和感がある
- 同居家族や身近な知人に感染症が疑われる人がいる □過去14日以内に海外への渡航履歴がある □その他、新型コロナウイルス感染の可能性がある症状がある

かながわトラストみどり財団

2022年度 ~ 2023.3/31

自然観察 & 体験イベント

財団ツイッターでも開催状況をお知らせしています。

イベント・ボランティアの参加にはマスク着用と当日の検温報告をお願いします。また、急な中止・行程変更がありますことをご承知おきください。※写真はすべてイメージです

受付期間にお申し込みください。申込みが定員を超えた場合は抽選となります。【雨天の場合】原則として小雨天決行です。集合場所にて講師がコース変更等を判断します。【服装と持ち物】帽子、長袖、長ズボン、歩きやすい靴・筆記用具、雨具、水筒(必要に応じて双眼鏡)でご参加ください。

申込 【申込先】(公財)かながわトラストみどり財団みどり企画課 〒220-0073 横浜市西区岡野2-12-20 FAX:045-412-2300 Email:midori@ktm.or.jp WEB:www.ktm.or.jp

【申込方法】イベント内容をご確認の上、●参加を希望するイベント名●参加希望者全員の氏名・住所・電話番号●会員の方は会員番号、または一般・学生(年齢)を明記して、FAX・Eメール・ハガキ・財団WEBサイトにてお申し込みください。【雨天の場合】原則として小雨天決行です。集合場所にて講師がコース変更等を判断します。【お願い】集合時間になりましたら出発します。遅れないようご注意ください。

*コース内のバス代は各自負担となります。*定員を超える申し込みがあった場合は抽選となります。


自然観察会 + 体験

シイタケほだ木のお土産つきナラ枯れ処理体験会

20人 受付 12/1 ~ 12/31

2023年 会員 **無料**
2月4日土 一般 **2,000円**
9:00~12:30 学生 **1,000円**

※持参:軍手・持ち帰り用ビニール袋 ※ほだ木は1年以上前に処理したものを提供します。
【集合】小田急線桜ヶ丘駅改札前9:00
【コース】桜ヶ丘駅~久田緑地~桜ヶ丘駅
●県内各地で「ナラ枯れ」によってブナ科のコナラが枯れてしまう事態が起きている。そのナラ枯れ被害を抑える処理方法を学び、その一つの手法であるシイタケのほだ木作りのワークショップを行います。




野鳥観察会

ハヤブサとカモメたちに会おう

20人 受付 1/1 ~ 1/31

2023年 会員 **無料**
3月4日土 一般 **2,000円**
9:00~12:30 学生 **1,000円**

【講師】NPO法人藤沢サンクチュアリ 高橋和也氏
【集合】小田急線片瀬江ノ島駅改札前9:00
【コース】片瀬江ノ島駅~弁天橋~西浦海岸~奥津宮~恋人の丘~ヨットハーバー(解散)
●東京2020オリンピック競技会場跡地の江ノ島で野鳥観察を行います。カモメやツグミ、ハヤブサを探しに行きませんか。




自然観察会

頼朝の痕跡と植物観察

20人 受付 12/1 ~ 12/31

2023年 会員 **無料**
2月25日土 一般 **2,000円**
9:00~12:30 学生 **1,000円**

※別途拝観料
【講師】インタープリター山口正志氏
【集合】JR鎌倉駅東口改札前9:00
【コース】鎌倉駅~杉本観音~瑞泉寺~永福寺跡~鎌倉宮~大倉幕府跡~源頼朝の墓(一旦解散)~鎌倉駅 ●源頼朝が構えた大倉幕府跡や頼朝のお墓などを巡ります。また牧野富太郎氏が名付けたとされる黄梅をはじめ早春の植物を観察します。




自然観察会

湘南ゴールドの発祥の地を訪ねる

30人 受付 1/1 ~ 1/31

2023年 会員 **無料**
3月20日月 一般 **2,000円**
9:00~12:30 学生 **1,000円**

※別途果樹園入園料
【講師】神奈川県農業技術センター足柄地区事務所/NPO法人小田原がいど協会
【集合】JR根府川駅改札前9:00
【コース】根府川駅~県農業技術センター~寺山神社~釈迦堂~根府川関所跡~オランジェ・ガルデン(一旦解散)~根府川駅
●幸せを呼ぶ新感覚オレンジ湘南ゴールド発祥の地を訪ね、湘南ゴールド狩りを楽しみます。



森へ行こう!

2022年度 (~ 2023.3/31) 活動に参加しよう!

森林ボランティア

【共通事項】
●神奈川県森林インストラクターが指導します。●「マーク」は緑の募金保全活動です。●現地に駐車場はありません。●雨天の場合、中止や延期する場合があります。実施日前日18時以降、当財団録音テープにて(045-412-2255)ご確認ください。

申込 【申込先】(公財)かながわトラストみどり財団みどり森林課 〒220-0073 横浜市西区岡野2-12-20 TEL : 045-412-2255 FAX: 045-412-2300 Email : midori@ktm.or.jp WEB : www.ktm.or.jp

【申込方法】申込は活動内容をご確認の上、●参加希望日●参加希望者全員の氏名(ふりがな)・住所・電話番号●森林整備活動登録番号をお持ちの方は登録番号を明記して、ハガキ・電話・FAX・Eメール・財団WEBサイトにてお申し込みください。
【雨天の場合】予備日のある場合は延期、ない場合は中止。【実施の可否の確認方法】実施日前日の18時以降に、電話(045-412-2255)でご確認ください。録音テープでご案内します。【活動内容】服装や過去の実施状況をWEBサイトに掲載しております。


子島

伊勢原市 大山地区

60人(先着順) 受付 11/1 ~

除伐 2023年1月28日土
予備日:1/29日

【集合】小田急線 伊勢原駅北口 9:00 専用バスで移動 ※自家用車駐車場はありません
【共催】伊勢原市
【協力】もりかみ協議会
【行程】伊勢原駅(専用バスで移動)⇒現地⇒伊勢原駅




中央区田名塩田

相模原市 市有林

100人(先着順) 受付 12/1 ~

除伐 2023年2月4日土
予備日:2/5日

【集合】小田急線 本厚木駅東口 9:00 専用バスで移動 ※自家用車駐車場はありません
【共催】相模原市 / (公財)相模原市まちみどり公社
【協力】厚木ヤクルト販売(株)
【行程】本厚木駅(専用バスで移動)⇒現地⇒本厚木駅




多摩区菅北浦

川崎市 菅北浦特別緑地

50人(先着順) 受付 12/1 ~

除伐 2023年2月18日土
予備日:2/19日

【集合】JR南武線 稲田堤駅 9:00 ※自家用車駐車場はありません
【共催】(公財)川崎市公園緑地協会
【後援】川崎市 【協力】もりかみ協議会
【行程】稲田堤駅(徒歩10分)⇒現地⇒現地解散



トラスト会員の皆様へ

かながわのナショナル・トラスト運動をみんなでサポート

イベント活動での撮影班を募集します

財団の自然観察会や森林体験イベント等における写真や動画の撮影班を募集します。撮影物は、財団ホームページ、機関誌やパンフレット等に掲載し、普及啓発活動に活用させていただきます。

【登録方法】

申込書をご希望の方にお送りします（依頼する際には財団から連絡します）

※ 20歳以上で財団トラスト会員の方

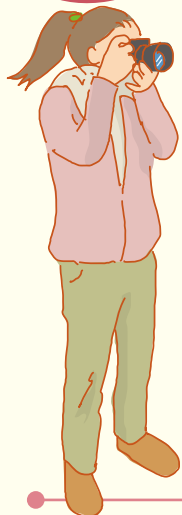
※ 保険加入、交通費支給

※ 写真、動画の著作権はサポーターに帰属し、ホームページや機関誌等に掲載する際、任意でお名前を掲載します。詳しくは、財団事務局まで

写真+動画
撮影愛好者の
会員皆様にお知らせ



「かながわのナショナル・トラスト運動」を一緒に盛り上げていきましょう



2022年10月14日(金)開催

竹林整備から動物のエサへ

まいばすけっと株式会社

都市の小型食品スーパーマーケットで知られる「まいばすけっと」は当財団への寄附などの社会貢献のほか、川崎市の水沢特別緑地で社員参加による竹林整備を定期的実施しています。

今年10月、竹林の整備によって生み出されるタケの葉を近隣にある市立夢見ヶ崎動物公園のレッサーパンダのエサとして活用する試みをしました。この日は社員28名が参加、モウソウダケを切り出し、葉をまとめてトラックに積み込みました。動物園に移動して、贈呈式を執り行い、レッサーパンダにエサとしてあげ

たところ、元気にもりもり食べる姿を見せてくれました。参加者の皆さんからも歓声があがり、緑地での活動に一層意欲が湧ききっかけとなった一日でした。



写真/山上 大貴

感想を送ってプレゼント

機関誌「ミドリ」やイベントなどの感想を募集中

① エゴノキかシラカシの一輪挿し

2名様

久田緑地で処分される樹木を活用した野花などを一輪飾る花瓶です。

サイズ：たて30×よこ30×高さ80cm程度(1個) 木部+ガラス管



② 『野鳥のくらし写真集』

3名様

著:坂本堅五

自然観察で講師を務める坂本堅五氏が神奈川県内の公園などで見られる野鳥を撮影した一冊。身近に見ることのできる野鳥たちの「くらし」をのぞけます。



お便りをいただいた方の中から抽選でプレゼントします。

応募方法：①『127号プレゼント希望』『A』または『B』
②〒と住所 ③連絡先(電話やメール) ④氏名 ⑤あれば会員番号 ⑥機関誌「ミドリ」アンケート、イベントや財団活動への感想やご意見など①～⑥を明記し、メールやハガキにて2023年1月31日(火)までにご応募ください。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

機関誌ミドリ127号アンケート

Q 1. 興味関心を持った誌面(最大3つ)を教えてください。

- ①秋夕花鳥図(自然へ一步)
- ②2万5千年前の旧石器時代人の生活とは
- ③拾った羽、どうしてますか?
- ④トラスト緑地保全支援事業報告
- ⑤事務局だより

Q 2. 記事への感想や取り上げてほしい話題など。

所得税・住民税の優遇措置について

(公財) かながわトラストみどり財団への会費や寄附は確定申告をすることによって、所得税、住民税の還付を受けることができます。ただし、県民税や市町村民税の控除は各自治体によって異なります。なお、控除額の計算は①②いずれかを選択することができます。

① 税額控除 (所得税)

① 所得税の減少分

(年間の公益法人等への寄附金総額 - 2,000円) × 40%

② 住民税の減少分

県民税 (年間の公益法人等への寄附金総額 - 2,000円) × 2%

(②の例)：横浜市税

(年間の公益法人等への寄附金総額 - 2,000円) × 8%

② 所得控除

(年間の公益法人等への寄附金総額 - 2,000円) の金額を、その年分の所得から控除するもの。

相続税の非課税

相続された方が相続財産を、相続税の申告期限 (亡くなってから10か月) までに寄附された場合は、その寄附額は相続税が非課税となります。

財団事業にご支援をお願いします。

緑地保全事業



緑地所有者と保存契約を交わし緑地の維持管理を行うほか、県内各地にあるトラスト緑地の保全を支援する事業を実施。

普及啓発事業



みどりを守り育てる運動を周知し、みどりのトラスト会員への加入や「かながわトラストみどり基金」への募金、かながわのナショナル・トラスト運動への参加促進を図っています。

緑の募金事業

緑の羽根募金として知られる森林整備や緑化の推進を図る募金活動です。財団が県内唯一の取りまとめ機関として活動しています。

財団は県内においてかながわのナショナル・トラスト運動及び県土緑化運動を行い、自然環境及び歴史的環境の保全と緑化の推進を図っております。みどり豊かな神奈川を次の世代に引き継いでいくために、財団事業へのご寄附をお願いします。

地域緑化活動事業



県内で緑化やみどりの魅力を創出することを目的に活動する団体を支援するため、活動助成や研修、情報交流を行っています。

県民参加の森林づくり事業



森林の公益的機能や水源林の大切さを実感できる機会を提供するため、森林づくりボランティア活動を実施。企業や教育機関の森林体験活動や神奈川県森林インストラクターの育成や派遣なども実施しています。

付属の振込用紙からゆうちょ銀行・郵便局の窓口やATMで手続きできます。

同封の振込用紙の取扱いについて

【注意】 2022年1月17日より、現金でのお振込みの場合は手数料がかかります。

- ① 本用紙は「キャンペーン用振込用紙」です。会員会費や緑のグッズ募金の振込には使用しないでください。
- ② 振込の内訳に記載がない場合は、財団事業への寄附とさせていただきます。
- ③ 領収書等礼状の不要、ミドリ等の掲載不要(匿名希望)の方は通信欄にをお願いします。

- (公財) かながわトラストみどり財団への寄附金は、所得税・法人税の控除が受けられます

消防用設備を通じて

「住み続けられるまちづくり」を
これからも支えていきます。



纒永工業株式会社

<https://koei-kogyo1978.com/company/>

会社情報

【本社】

住所：神奈川県横浜市戸塚区柏尾町 191-2
TEL：045-826-1145（代表）
FAX：045-826-1149

【東京支店】

住所：東京都千代田区神田和泉町 1-11-17
プラントビル5階
TEL：03-5687-1088
FAX：03-5829-8311

広告



排出事業者向け

産業廃棄物管理システム

シゲンクラウド

検索



SHIGEN Cloud

運営会社：株式会社シゲン

MAIL：info@shigencloud.co.jp TEL：045-222-0888

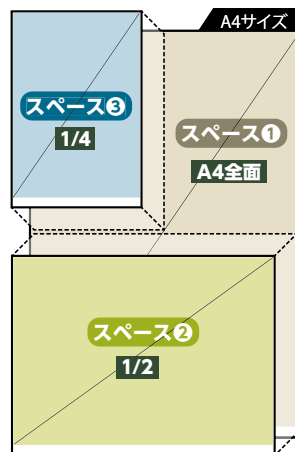
URL：https://shigencloud.jp



法人・団体会員様を
紹介いたします！

法人団体会員など財団事業をご支援いただいている企業・団体様の広告を募集しています。日頃の社会活動をPRする機会としてご利用ください。掲載料は機関紙「ミドリ」の制作費の一部として使用します。

年4回をまとめる場合は、
3回分の掲載料で
お受けしております



規格 及び 掲載料

規格	サイズ(幅×高さ)	掲載料
スペース①	全面広告 (180W×270H)	80,000円
スペース②	1/2広告 (180W×130H)	40,000円
スペース③	1/4広告 (88W×128H)	20,000円